

浅草第四十二回

日本古武道大会

日時 令和六年四月二十日(土)午後十二時半より
場所 台東リバーサイドスポーツセンター

主催 日本古武道振興会
後援 東京都台東区

ご挨拶

日本古武道振興会

会長 加藤 紘



本日、台東区の御協賛をいただき恒例の日本古武道大会が開催されることは古武道の保存振興のため誠に喜ばしいかぎりであります。

日本の古武道は、長い歴史と伝統の中で育まれ、技を磨くと共に心を磨くという心身両面にわたる鍛錬の道として、現代まで継承されてきたわが国の貴重な民族文化であります。

今日まで伝えられてきた古武道は、流祖先師等古人が生と死を賭けた戦場で習得した実戦の武術であります。それが武士の誉れの信条にあります。仁、義、礼、智、信と一体となり静と動の様式美さえ醸成され、日本の誇るべき伝統文化財となったものであります。

ご観覧の皆様におかれましては、どうか古武道の心技一如の域に達した各流派の諸先生方の妙技を心ゆくまで味得していただければ幸甚と存じます。

浅草第 42 回 日本古武道大会

第二会場

第一会場

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 双水執流小具足腰之廻組討 (宇佐美裕司) | 1 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原清忠) |
| 鞍馬流劍術 (柴田 章雄) | 2 神道夢想流杖術 (江角 和敏) |
| 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞) | 3 細川家兵法二天一流 (宮田 和宏) |
| 和道流柔術拳法・空手術 (大塚 博紀) | 4 無想神傳流拔刀術 (小川 武) |
| 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平) | 5 直心影流薙刀術 (荻原 晴子) |
| 関口流拔刀術 併伝兵法二天一流 (松岡 秀樹) | 6 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀) |
| 戸山流拔刀道 (中村 朋子) | 7 荒木流拳法 (菊池 邦光) |
| 神道無念流劍術 (小川 武) | 8 神道夢想流杖術 (松井 健二) |
| 兵法タイ捨流 (上原エリ子) | 9 無雙直伝英信流居合術 (小藺江徹郎) |
| 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司) | 10 無雙神傳英信流拔刀兵法 (森本 邦生) |
| 根岸流手裏劍術 (苦米地芳見) | 11 神夢想林崎流居合術 (鈴木ゆき子) |
| 天真正伝香取神道流兵法 杉野道場 (飯篠 快貞) | 12 田宮流居合術 (妻木 達夫) |
| 無比無敵流杖術・為我流派勝新流柔術 (根本 憲一) | 13 無限神刀流居合術 (平岡 祥淑) |
| 氣樂流柔術 (水科 壽美) | 14 荒木流拳法 (鈴木清一郎) |
| 夢想神伝流居合術 (松岡 秀樹) | 15 小野派一刀流 (矢吹 裕二) |
| 直元流大長刀術 (鈴木ゆき子) | 16 水鷗流 正木流鎖鎌術 (勝瀬 善光) |
| 柳生新陰流兵法 (梶塚 靖司) | 17 澁川一流柔術 (森本 邦生) |
| 伯耆流居合術星野派 (有若 茂) | 18 淺山一傳流兵法 (関 展秀) |
| 柳生制剛流拔刀 (柳生 耕一) | 19 天然理心流 (大塚 篤) |
| 天神真楊流柔術 (久保田修弘) | 20 神夢想林崎流居合術 (石崎 徹) |
| 小野派一刀流劍術 (鈴木ゆき子) | 21 琉球古武術 (井上 貴勝) |
| 大東流合気柔術 (近藤 勝之) | 22 夢想神伝居合林崎重信流詰合 (津村 恵治) |
| 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一) | 23 天道流薙刀術 (木村 恭子) |
| 森重流砲術 (長塚 正晃) | 24 立身流 (加藤 紘) |
| | 25 |

参加流派 48

参加人数 278 名

第一会場

一、小笠原流弓馬術礼法（小笠原長清）

二、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

三、細川家伝統兵法二天一流（新免武蔵玄信）

小笠原 清忠（東京都）

星野 達郎
宇田 照子
鷹野 洋子
吉野 真理
星野 未子

江角 和敏（東京都）

河間村 頼龍 祐
下奈間 辰樹
朝比奈 遠太郎
田中 雄也
澤田 幹貴
鹿野

宮田 和宏（福岡県）

深谷 俊文
メル 八ヤシ
篠田 雅夫
河上 裕彦
岡村 祐香
田村 衡

四、無想神傳流拔刀術 (林崎甚助重信)

小川 武 (東京都)

五、直心影流薙刀術 (山田平左衛門藤原光徳)

萩原 晴子 (兵庫県)

六、夢想神伝流居合術 (林崎甚助重信)

高橋 次秀 (東京都)

七、荒木流拳法 (荒木夢仁斎源秀縄)

菊池 邦光 (群馬県)

萩城崎 掛川崎 樋口川崎 神田明也 柴田勝也 夏太郎 成彦樹 建太郎昭

西郷 上野 赤堀 青野 宏三柄子 芳恵子 恵子

高阿部 高橋 阿部 和田 水利 清水 橋本 拓公 理陽 博次 昭 則 斗

西川 細野 鈴木 木野 鈴木 史 邦 桂 荒 崇 一郎

八、神道夢想流杖術（夢想權之助勝吉）

（松井健二）（東京都）

九、無雙直伝英信流居合術（林崎甚助源重信）

小藪江徹郎（茨城県）

十、無雙神傳英信流拔刀兵法（林崎甚助重信）

森本邦生（広島県）

十一、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

鈴木ゆき子（東京都）

鈴木木 鈴木木 鈴木木
後藤木 五嵐藤 茂木 宮内
十
大政正 真ゆき子
一 地則典建香

森本邦生
内住本邦生
鈴木厚信史

猪猪野 猪猪野
徹郎
研一

青木 天野 浅野 草野 竹内
星内
公正祐勝宏卓
久幸郎正宣弥

十二、田宮流居合術（田宮平兵衛業正）

妻木達夫（神奈川県）

十三、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

平岡祥淑（静岡県）

十四、荒木流拳法（荒木夢仁齋源秀繩）

鈴木清一郎（群馬県）

十五、小野派一刀流（伊藤一刀齋景久）

矢吹裕二（東京都）

妻木達夫
小野木信達
吉野池義夫
三宅映治
森文正彦

石川蓮太郎
中嶋昌太
里見大広
戸村憲雄

西村右内
内村佐敬
西村友統
長井伸弘
村田俊彦

矢吹裕二
石崎徹
鈴木宏哉
安西木亮
内田佑樹
グリゴリス・ミリアレス

十六、水鷗流 正木流鎖鎌術 (三間与一左衛門景延)

勝瀬善光 (静岡県)

カンダイ・アントニ

吉川正記

今枝大輔

フー・アンソニー

坂下明之

杉浦由悟

中崎将巧

吉川将悟

内川瑠里

黒野寛里

滝野瑠里

喬俊子

十七、澁川一流柔術 (首藤蔵之進満時)

森本邦生 (広島県)

鈴木本邦生

厚信邦生

史之生

十八、浅山一傳流兵法 (浅山一傳齋重晨)

関展秀 (茨城県)

関塚佳展

山田俊彦

黒澤大幸

後藤大幸

菅野大幸

颯輔大幸

十九、天然理心流（近藤内蔵之助藤原長裕）

二十、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

二十一、琉球古武術

二十二、夢想神伝居合林崎重信流詰合（林崎甚助重信）

大塚 篤（茨城県）

大塚 篤
玉山 奈々江
岩本 真一
佐木 佳典
市川 剛

石崎 徹（神奈川県）

石崎 徹
矢吹 裕二
安西 亮

井上 勝（東京都）

岡林 俊雄
梅田 寛
小口 卓
佐木 博
佐々木 繼
宗像 定宏
早川 敏一
遠山 栄一郎

津村 恵治（埼玉県）

安生 和之
関戸 伸治
神口 剛司
山橋 依季
倉橋 依季

第二会場

二、双水執流小具足腰之廻組討（二神半之助正聰）

三、鞍馬流劍術（大野將監）

四、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

櫻成荒	飯	西松水吉柴	柴	内蛭鈴五秋舍飯宇	宇佐見
井毛野	篠	城井野田田	田	田田木畑田弗高美	裕
俊 祥	快	舟康正穰章	章	翔倫 潤和秀 裕	裕
也弘司	貞	二 一 郎 覚 雄	雄	也 史 智 一 雄 雄 宏 司	司
	（千葉愚		（東京都		（埼玉県）

五、和道流柔術拳法・空手術（大塚 博紀）

六、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

七、関口流拔刀術 併伝兵法二天一流

（関口八郎左衛門氏業 新免武蔵藤原玄信）

八、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

大塚博紀（東京都）

大塚博

坂巻明紀

寺田英明

押田良光

三田篤

ロヒヤファンデルフェルデ

石本一平（兵庫県）

石本一平

松岡秀樹（熊本県）

林憲一

平川拓洋

中村朋子（神奈川県）

高野弘光

阿部英夫

高橋淳一

水主勝人

富山卓哉

佐藤里香

増田幸弘

九、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

小川 武（東京都）

十、兵法夕イ捨流（丸目藏人佐藤原長恵）

上原 エリ子（熊本県）

十一、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

梶塚 靖司（栃木県）

柴田 勝也
神明 太郎
樋口 樹
掛川 彦
山谷 子
岩田 牙
玉根 純也
城崎 建太郎

田添 信一郎
田中 英樹
森井 俊和
ゴムリア・ジュフリ
松岡 潤智
児玉 智

梶塚 靖司
寺保 敦也
高橋 慶太
谷野 文弥
吉岡 一文
藤澤 勝也
前田 樹里
大田 光明
谷和 田

十二、根岸流手裏劍術 (根岸松齡)

苦米地 芳 見 (東京都)

松成村外佐 苦米地
村田上川方 芳
太 龍誠 芳
一 惠 一 弘 見

十三、天真正伝香取神道流兵法 杉野道場 (飯篠長威齊家直)

飯篠 快 貞 (千葉県)

杉野 一至 寛
岩田 一 政
大澤 まさみ
伊藤 亨 弘
小菅 一 彦
ライオンハート・ミヒヤエル
藁科 至 智
米倉 稜 人
石崎 光 洋

十四、無比無敵流杖術・為我流派勝新流柔術

(佐々木哲齋徳久、江畑本衛門満真)

根本 憲 一 (茨城県)

根本 憲 一
大和 正 幸
村幡 浩 治
沢木 伸 男
白石 達 郎
加瀬 大 輔
横須賀 由利 子

十九、伯耆流居合術星野派（片山伯耆守藤原久安）

二十、柳生制剛流拔刀（水早長左衛門信正）

二十一、天神真楊流柔術（磯又右衛門源正足）

大和田 悠光 介明

有若 茂（東京都）

柳生 耕一（愛知県）

柳生 耕一
松香 光信
堀江 明一
水谷 直樹

久保田 修弘（埼玉県）

坂本 卓彦
渡邊 卓也
岩倉 宏淳
八木 宏一
古川 眞一
小澤 修一
柴田 シン
裕一 一郎

二十二、小野派一刀流劍術（伊藤一刀齋景久）

二十三、大東流合気柔術（新羅三郎源義光）

二十四、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

鈴木 柳木 ゆき子（東京都）
 鈴木 木 眞理香
 鈴木 木 眞理香
 後藤 木 眞理香
 茂木 正典
 五島 大正
 宮内 政一

近藤 勝之（東京都）
 近藤 昌之
 白山 秀遠
 味岡 功磨
 矢野 睦夫
 藤原 雅樹
 香山 由紀
 香山 由紀
 大滝 政克
 アレクシブ・ロマン

柳生 耕一（愛知県）
 柳生 耕一
 小泉 弥貴
 星川 宣貴
 藤岡 宣貴
 寺岡 裕一
 松本 義久

二十五、森重流砲術
(森重鞠負都由)

長
長設林石佐藤
塚
塚樂原藤沢
正
正英由貴文
晃
晃一理智行
(東京県)

古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によつて得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもつて自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月二日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鋭」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鋭」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。

平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。

令和二年七月五日(日)には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>
メール kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp